

## 10月29日：VN指数は3週間ぶりの安値に

4営業日続落でVN指数は919.08ポイントで取引を終えた。10月8日以来の3週間ぶりの安値となった。

指数は何度か上昇する場面があったが、最終的には下落して取引を終えた。アナリストは押し目買いが見られたと指摘した。

ホーチミン取引所のVN指数では208銘柄が下落し202銘柄が上昇した。出来高は10%減の8兆ドンであった。

VN30指数は0.25%安、14銘柄が下落し14銘柄が上昇した。

大きく下落したのはベティンバンク（CTG）で2.7%安、BIDV銀行（BID）、ベトコムバンク（VCB）などとなった。

民間銀行はまちまち。テクコムバンク（TCB）は1.6%安、エクシムバンク（EIB）は0.3%安、サコムバンク（STB）とHDバンク（HDB）はそれぞれ3.1%、2.6%高となった。

石油ガスセクターでは、ペトロベトナムガス（GAS）が1.3%安、ペトロベトナムパワー（POW）が0.9%安だったが、ペトロリメックス（PLX）は1.5%高となった。

格安航空のベトジェット（VJC）は1.6%安となった。

その他の大型株では、モバイルワールドインベストメント（MWG）は2.6%安、マッサングループ（MSN）は2.6%安、ホアンファイインベストメント（TCH）も1.6%安となった。

一方、ビンググループ（VIC）は0.5%高、ビンホームズ（VHM）とビンコムリテール（VRE）はそれぞれ0.8%、0.4%高となった。

SSI証券（SSI）は2.4%高、FLCファロス建設（ROS）は1.8%高、軍隊銀行（MBB）は1.4%高となった。

一方、ハノイ取引所のHNX指数は0.25%高、UPCoM指数は0.02%高となった。

外国人投資家は 3400 億ドルの売り越しだった。MSN、VRE に売りが集まった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。